

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立静岡西高等学校

静岡市葵区牧ヶ谷 680-1

電話 054-278-2721

FAX 054-278-9003

目 次

□□□□	事務事業の概要	1
□□□□	事務執行の根拠法令調	17
□□□□	学校施設の概要	18
□□□□	在籍生徒調	20
□□□□	入学志願者及び入学者数調	21
□□□□	卒業生の動向調（高等学校用）	22
□□□□	生徒の状況	23
□□□□	授業料収納状況調	24
□□□□	歳入予算執行状況調	26
□□□□	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	30
□□□□	現金出納調	31
□□□□	預金調	33
□□□□	郵券等受払調	33
□□□□	歳入歳出外現金調	34
□□□□	歳出予算執行状況調	36
□□□□	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	42
□□□□	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	43
□□□□	委託料に関する調	44
□□□□	負担金支出調	46
□□□□	建築工事調	48
□□□□	公有財産調	50
□□□□	借地借家等調	51
□□□□	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	52
□□□□	行政財産貸付・使用許可調	53
□□□□	備品・図書調	55
□□□□	主要備品調	59
	職員調・職員の年齢調・健康管理	60

事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

昭和 51 年 3 月 23 日	静岡県議会において静岡市牧ヶ谷 680 番地の 1 に静岡地区新設高等学校の 建設計画を議決
昭和 51 年 7 月 28 日	第一期工事起工式
昭和 51 年 12 月 17 日	静岡県立静岡西高等学校と定める。
昭和 52 年 3 月 25 日	第一期工事（普通教室 12、特別教室 9、管理部門 6） 鉄筋コンクリート 5 階建 延 3,409 m ² 竣工
昭和 52 年 3 月 30 日	全天候型直線走路 130m・3 コース及全天候透水性テニスコート完成
昭和 52 年 3 月 31 日	自転車置場、体育器具庫(部室)、外便所竣工
昭和 52 年 4 月 7 日	開校入学式（全日制の課程普通科・募集定員 360 人） 於 静岡市立長田北小学校体育館
昭和 52 年 7 月 7 日	第二期工事起工式
昭和 53 年 3 月 25 日	第二期工事（普通教室 12、特別教室 5、管理部門 5） 鉄筋コンクリート 5 階建 延 2,816 m ² 竣工
昭和 53 年 7 月 14 日	第三期工事着工
昭和 54 年 3 月 29 日	第三期工事(玄関・事務室・校長室・職員室・図書館・LL 教室・視聴覚教室) 鉄筋コンクリート造 5 階建 延 1,396 m ² 竣工
昭和 54 年 8 月 31 日	体育館(格技場) 鉄筋コンクリート造 2 階建竣工
昭和 55 年 4 月 1 日	学級増（全日制の課程普通科・募集定員 405 人）
昭和 55 年 9 月 25 日	プール(25m・8 コース)、ポンプ室、附属棟(更衣室)竣工
昭和 56 年 3 月 18 日	別棟鉄筋コンクリート造 3 階建竣工
昭和 56 年 11 月 14 日	創立五周年記念式典
昭和 61 年 3 月 31 日	静岡市牧ヶ谷土地区画整備事業により校地確定
昭和 61 年 11 月 13 日	創立十周年記念式典
昭和 62 年 3 月 25 日	増設教室竣工
昭和 62 年 4 月 1 日	学級増（全日制の課程普通科・募集定員 450 人）
平成 2 年 8 月 29 日	夜間照明施設工事竣工
平成 3 年 3 月 22 日	体育部室竣工
平成 3 年 4 月 1 日	学級減（全日制の課程普通科・募集定員 405 人）
平成 4 年 4 月 1 日	学級減（全日制の課程普通科・募集定員 360 人）
平成 5 年 4 月 1 日	定員変更（全日制の課程普通科・募集定員 344 人）
平成 6 年 4 月 1 日	学級増及び定員変更（全日制の課程普通科・募集定員 378 人） 「総合」「理数」及び「体育」の 3 コースを設置
平成 6 年 8 月 8 日	文化創造館（青陵）竣工
平成 7 年 4 月 1 日	学級減及び定員変更（全日制の課程普通科・募集定員 328 人）
平成 8 年 2 月 1 日	弓道場 117 m ² 竣工
平成 8 年 4 月 1 日	定員変更（全日制の課程普通科・募集定員 320 人）

平成 8 年 11 月 7 日 創立二十周年記念式典

平成 9 年 4 月 1 日 学級増 (全日制の課程普通科・募集定員 360 人)

平成 10 年 4 月 1 日 学級減 (全日制の課程普通科・募集定員 320 人)

平成 11 年 4 月 1 日 学級増 (全日制の課程普通科・募集定員 360 人)

平成 12 年 4 月 1 日 学級減 (全日制の課程普通科・募集定員 320 人)

平成 13 年 4 月 1 日 学級減 (全日制の課程普通科・募集定員 280 人)

平成 14 年 4 月 1 日 理数コース停止、総合コースの中に特進クラス・普通クラスを設置

平成 14 年 10 月 31 日 校舎 1-1 耐震補強工事竣工

平成 16 年 4 月 1 日 学級減 (全日制の課程普通科・募集定員 240 人)

平成 18 年 1 月 20 日 体育館耐震補強工事竣工

平成 18 年 4 月 30 日 教室等空調設備・グラウンド夜間照明設備設置工事竣工(後援会事業)

平成 18 年 11 月 9 日 創立三十周年記念式典

平成 19 年 12 月 21 日 校舎 1-2、1-3 耐震補強工事竣工

平成 22 年 4 月 1 日 学級増 (全日制の課程普通科・募集定員 280 人)

平成 22 年 7 月 28 日 普通教室空調設備設置工事竣工(後援会事業)

平成 23 年 4 月 1 日 学級減 (全日制の課程普通科・募集定員 240 人)

平成 23 年 7 月 27 日 普通教室空調設備設置工事竣工(後援会事業)

平成 25 年 3 月 25 日 災害用仮設トイレ 12 基設置

平成 28 年 11 月 11 日 創立四十周年記念式典

平成 31 年 4 月 1 日 学級減 (全日制の課程普通科・募集定員 200 人)

令和 3 年 4 月 1 日 学級減 (全日制の課程普通科・募集定員 160 人)

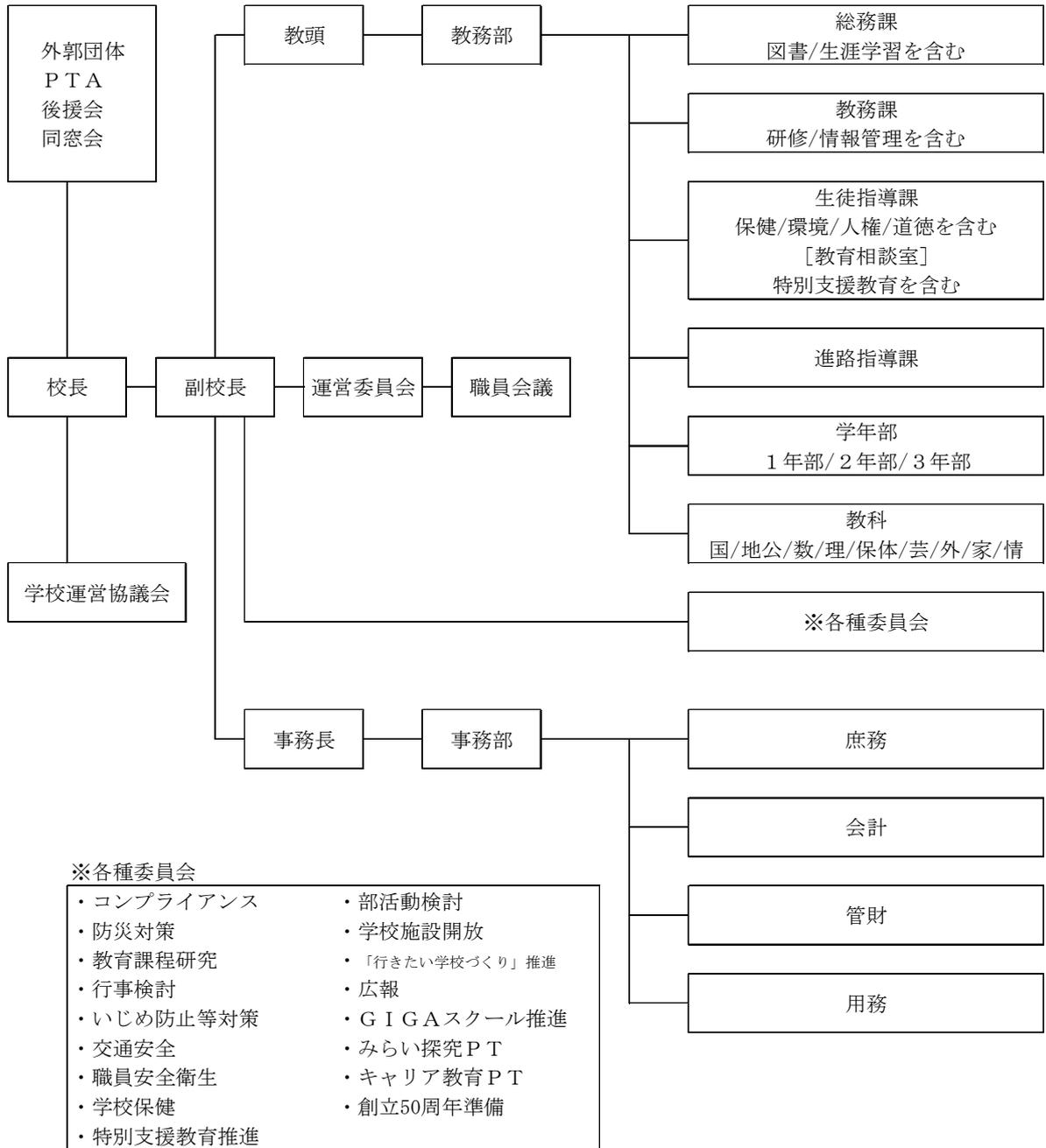
令和 4 年 4 月 1 日 体育コースをスポーツコースに改称

令和 5 年 4 月 1 日 学級減 (全日制の課程普通科・募集定員 120 人)

令和 6 年 4 月 1 日 総合(特進・普通)コースをみらい探究コースに改称 新制服導入

令和 7 年 4 月 1 日 学級減 (全日制の課程普通科・募集定員 80 人)

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
①自分を信じる強い心を持ち、諦めることなくやり遂げることができる人 ②相手を認める思いやりの心を持ち、社会の変化にも柔軟に対応できる人 ③社会の役に立とうとする心を持ち、高い志をもって行動できる人	①道徳心と自己肯定感を育み、広く社会に貢献しようとする態度を育成する。 ②基礎学力を定着させ、課題解決に向けて主体的に取り組む資質・能力を育成する。 ③主体的な活動を通して、責任感と連帯感を養い、より良い人間関係を築く力を育成する。	①3年間勉学に励み、自分を成長させようという意欲のある人 ②多様性を認め、広く豊かな人間関係を構築できる人 ③体を動かすことが好きで、スポーツや健康を多角的に学ぶ意欲がある人（スポーツコース） ④学校行事に積極的に参加し、探究心をもって勉強や部活動に取り組む意欲がある人（みらい探究コース）

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ・生徒を認め励ますことにより、自己肯定感を涵養する。
- ・基本的な生活習慣を確立させ、健康・安全に留意し、道徳教育を通じて規範意識を育成する。
- ・基礎学力を定着させ、課題解決に向けて主体的に取り組む資質・能力を育成する。
- ・進路選択に関する指導の充実を図り、社会の役に立とうとする心を持った生徒を育成する。
- ・生徒の主体的な活動を促し、責任感と連帯感を養い、よりよい人間関係を築く力を育成する。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	自己肯定感の涵養	・「自分は価値ある人間である」と答える生徒70%以上 ・「西高 Spirit を意識して学校生活を送っている」と答える生徒70%以上 ・「西高の先生は、よく褒め励ましてくれる」と答える生徒65%以上 ・「学校生活が充実している」と答える生徒80%以上	・81.1% ・81.5% ・65.9% ・83.1%	A	・行事や部活動に主体的に取り組む生徒が多い。教員からの声掛け(褒める、認める)を増やすことで自己肯定感の涵養につなげていきたい。 ・以前に比べると、先生方は生徒を褒めているが、生徒の自己肯定感は、一部まだ低い印象がある。笑顔で過ごす生徒は増えたと感じるが、生徒同士の人間関係には課題を残す。 ・進路・職業に対する理解を深め、自分の生き方について考えさせる機会を多く設けたことで、前向きに学校生活を送る生徒が増えた。
イ	基本的な生活習慣の確立	・「規律ある学校生活を送っている」と答える生徒、保護者90%以上 ・「あいさつができています」と答える生徒、保護者90%以上 ・欠席者数 のべ 在籍人数×3回以内 (750) ・遅刻者数 のべ 在籍人数×4回以内 (1000)	(生)94.4% (保)97.8% (生)95.2% (保)97.1% 欠席 999 遅刻 277	A	・服装・あいさつ等、できる生徒が増加した。規律・あいさつは、他校の先生方や保護者、中学生の保護者からも評価をいただいている。 ・朝の継続した指導で、欠席、遅刻数の減少につながった。中学校で長欠傾向にあった生徒の改善も見られている。

ウ	社会的規範意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「相手を思いやる発言や行動をしている」と答える生徒 80%以上 ・「校則や交通ルールなど社会のきまりを守っている」と答える生徒 90%以上 ・重大な交通事故ゼロ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 94.4% ・ 97.2% ・ 重大交通事故ゼロ 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規律を守ろうとする意識は、ここ数年と比較にならないほど高いと感じている。交通マナーについて、御指摘をいただくこともあるが、交通指導を適時行うことができています。
エ	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学びの基礎診断において、学力の向上が見られた生徒 60%以上 ・ 「西高で学力を伸ばすことができる」と答える生徒、保護者 70%以上 ・ 「勉強を頑張っている」と答える生徒 60%以上 ・ 家庭学習時間週 7 時間以上取り組んでいる生 50%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 1 年 50.5% 2 年 35.1% (生) 79.9% (保) 86.7% ・ 81.1% ・ 30.1% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒、保護者の実感と学力の現状とに差がある。観点別評価の工夫、授業改善等、継続的に取り組むことで、学力の定着につなげていきたい。
オ	課題解決に向け主体的に取り組む資質・能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月例の職員研修(10分研修)の実施 ・ みらプロの授業に自ら取り組む生徒 70%以上 ・ 言語活動の充実、主体的・対話的で深い学びを実践している教員 80%以上 ・ 「学校行事に積極的に取り組んでいる」と答える生徒、保護者 90%以上 ・ 「部活動に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒、保護者 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の職員会議後に実施 (生) 87.6% (教) 96.6% (生) 93.6% (保) 96.4% (生) 81.5% (保) 87.0% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短時間であるが効果的に研修を行うことができた。ICT 機器の活用により、生徒-教員間の双方向のやりとりの充実が図られた。 ・ みらプロ担当の精力的な指導もあり、「生き方指導」としての進路指導計画が整えられた。それにより地域と連携した探究的な学びが増え、生徒の意欲的な探究活動が見られた。10分研修は実施できたものの、内容が充分ではなかった会もあった。生徒の取組状況は十分であるものの、工夫を加えればもっと主体的に取り組むことができる。 ・ 行事、部活動に意欲的に取り組んでいる。みらい探究コースの生徒にも良い影響を与えている。
カ	社会の役に立とうとする心の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自分の将来の生き方について具体的に考えている」と答える生徒 80%以上 ・ 「学校は社会の役に立とうとする姿勢を育てている」と答える生徒 80%以上 ・ 「進路選択に関する情報が適切に提供されている」と答える生徒、保護者 80%以上 ・ 「何らかのボランティア活動に参加した」生徒 50%以上 	<ul style="list-style-type: none"> (生) 70.3% (生) 90.0% (生) 90.0% (保) 84.4% (生) 48.2% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周りを見て、率先して行動する生徒が増えた。行事では人数の少ない中で、一人何役もこなす生徒が多数おり、意欲的に活動に貢献する姿が見られた。 ・ 欠席数や成績、学校生活が直に将来に繋がることを伝えていきたい。計画性に乏しい生徒が一部いる。ボランティア活動への参加者数を増加させたい。 ・ Classi や掲示物を活用した進路情報の提供に努めたが、今後は生徒の「生きる力」

					を育む指導の充実を図りたい。進路とみらいプロジェクトを絡めることへの意識づけには課題を残す。 ・大学等との連携が定着し、進路を真剣に考える姿勢が身についてきた。
キ	心身の健康の保持増進と 安心し信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対する言葉づかい、呼称、授業のUD化に配慮している教員 100% ・「信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上 ・「安心して学校生活を送ることができている」と答える生徒 85%以上 ・朝食摂取率 90%以上 	(教) 93.1% (生) 83.1% (生) 86.7% (生) 87.9%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼できる先生がいる生徒の 80% 越えは素晴らしい。 頼もしい教員が多く、生徒が安心して生活を送ることができている。学校生活アンケートに、気兼ねなく気持ちを書いてくる生徒が多い。安心・安全な学校に着実に近づいている。 ・授業改善、授業の中での生徒とのやりとりが信頼関係の深まりへとつながっていると感じている。
ク	教職員の資質・能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器を活用した授業実践を試みる教員 100% ・「西高の授業はよくわかり、満足している」と答える生徒、保護者 70%以上 	(教) 82.8% (生) 79.5% (保) 86.0%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学力層の生徒が混在する中で、ICT 機器を活用しながら個に応じた指導を行っている。学力の定着が今後の課題である。
ケ	情報発信、広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭への連絡や情報提供が適切に行われている」と答える保護者 80%以上 ・HP の更新、X、Instagram への投稿を年間計 150 回以上 ・SNS の投稿に取り組んだ教員 50%以上 ・「一日体験入学、学校説明会に来て良かった」と答える参加者の割合 90%以上 	(保) 86.1% ・ 119 回 (教) 34.5% ・ 90.2%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡や回答を書面ではなく Classi やフォームで行う工夫をした。 ・広報委員会が中心となり、Nnavi をはじめ、各種広報活動を充実させることができた。SNS の投稿については教員が積極的に関わる機会を増やしていきたい。 ・説明会等、魅力発信に学校全体で努めた。生徒による案内誘導、説明は特に高く評価された。
コ	教職員のワークライフバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務の縮減または業務の効率化を図ることができた教職員 70%以上 ・夏季休暇取得率 100% ・定時退勤できた教職員 70%以上 	・ 72.4% ・ 100% ・ 41.4%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた職員数の中、互いに協力・補完し合い職員皆で業務を遂行している。休めるときには休む、この姿勢を大事にしていきたい。
サ	安心・安全で信頼される学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の事故発生件数 0 件 ・施設に関する事故発生件数 0 件 ・監査等の指示、指摘事項 0 件 	公務災害 0 件 施設 0 件 指摘 0 件	A	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に関する呼びかけは機会あるごとに続けることができた。 ・階段の照明や玄関オートロック錠の設置など、予防的視点から施設整備を行うことができた。

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
ア	自己肯定感の涵養	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の状況をよく把握し、小さな目標設定をし、成長が認められたときには褒めるよう心がける。 加点方式による生徒理解、評価への反映を行う。 特別活動、部活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分は価値ある人間である」と答える生徒80%以上 「西高 Spirit を意識して学校生活を送っている」と答える生徒80%以上 「西高の先生は、授業中によく褒め励ましてくれる」と答える生徒70%以上 「学校生活が充実していると感じている」生徒80%以上
イ	基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 登校指導、服装指導を実施し、自律意識を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 「規律ある学校生活を送っている」と答える生徒、保護者90%以上 「あいさつができています」と答える生徒、保護者90%以上 欠席者数 のべ 在籍人数×3 回以内 遅刻者数 のべ 在籍人数×4 回以内
ウ	社会的規範意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育を推進し、他者を思いやる心を育み、規範意識を高める。 街頭指導を実施し、交通ルール遵守の意識高揚を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「相手を思いやる発言や行動をしている」と答える生徒90%以上 「校則や交通ルールなど社会のきまりを守っている」と答える生徒90%以上 重大な交通事故ゼロ
エ	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の学力に適した指導を行う（個別最適化）。 授業で、言語活動の充実、ICTの活用等により、学習意欲向上と学力伸長に結び付ける。 各教科で適切に宿題を課し、家庭学習の習慣付けを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学びの基礎診断において、学力の向上が見られた生徒60%以上 「西高で学力を伸ばすことができる」と答える生徒、保護者80%以上 「勉強を頑張っている」と答える生徒70%以上 家庭学習時間を週7時間以上取り組んでいる生徒50%以上
オ	課題解決に向け主体的に取り組む資質・能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 教員の意識改革により、総合的な探究の時間を充実させる。 授業における探究活動を充実させ主体的・協働的に学びに向かう場面を設定する。 特別活動、部活動の充実を図る。 スポーツコースカリキュラムの充実・定着を図り、成果を検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> 月例の職員研修（10分研修）の実施 「みらプロ」の授業に自ら取り組む生徒80%以上 言語活動の充実、主体的・対話的で深い学びを実践している教員80%以上 「学校行事に積極的に取り組んでいる」と答える生徒、保護者90%以上 「部活動に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒、保護者80%以上 「行きたい学校づくり」推進事業の指標実現
カ	社会の役に立とうとする心の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間を通して、未来を切り拓く力を育成する。 ホームルーム活動では、継続的に進路情報を提供し、生徒の主体的な進路選択を促す。 スポーツコースや部活動において地域との交流事業を実施する。 社会貢献活動への参加を啓発し、積極的な取組を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分の将来の生き方について具体的に考えている」と答える生徒80%以上 「学校は社会の役に立とうとする姿勢を育てている」と答える生徒80%以上 「進路選択に関する情報が適切に提供されている」と答える生徒、保護者80%以上 「何らかのボランティア活動に参加した」生徒50%以上
キ	心身の健康の保持増進と安心し信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の人権に配慮した授業や生徒指導を推進する。 保護者や外部機関等と連携し、病気や怪我の予防、薬物乱用防止の取組を推進する。 HR担任、教育相談室、SC等の連携や特別支援学校のセンター的機能の活用を進め、教育相談体制の充 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に対する言葉づかい、呼称、授業のUD化に配慮している教員100% 「信頼できる先生がいる」と答える生徒80%以上 「安心して学校生活を送ることができている」と答える生徒90%以上 朝食摂取率90%以上

		実を図る。	
ク	教職員の資質・能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ICT 機器の有効的活用を進める。 魅力ある授業デザイン研修の充実を図り、授業改善を行う。 授業と課題、テスト、評価の一体化への工夫・改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT 機器を活用した授業実践を試みる 教員 90% 「西高の授業はよくわかり、満足している」と答える生徒、保護者 80%以上
ケ	情報発信、広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学校 HP、SNS (X、Instagram)、Classi、Nnavi! 等による情報発信や広報活動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭への連絡や情報提供が適切に行われている」と答える保護者 80%以上 HP の更新、X、Instagram への投稿を年間計 150 回以上 「一日体験入学、学校説明会参加者に来て良かった」と答える参加者の割合 90%以上
コ	教職員のワークライフバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> タイムマネジメントを意識した働き方改革を実践し、年次休暇及び特別休暇を積極的に取得する。 各自定時退勤日を設定し実行する。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務の縮減または業務の効率化を図ることができた教職員 80%以上 夏季休暇取得率 100% 定時退勤できた教職員 70%以上
サ	安心・安全で信頼される学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス研修の充実と教職員の危機管理意識向上を図る。 教育環境の整備を進め、学校経営予算の適正執行を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の事故発生件数 0 件 施設に関する事故発生件数 0 件 監査等の指示・指摘事項 0 件

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<p>【大学での高度な学びと連続したスポーツに関するカリキュラムの構築】</p> <ol style="list-style-type: none"> 行きたい学校づくり推進事業 行きたい学校づくり事業実施委員会の設置と情報共有 「スポーツコース」の充実 大学連携授業 (5・6・7・9・10・11・12・1月) 競技スポーツ観戦 (3学期) 既存の行事の拡大と充実 	<ol style="list-style-type: none"> 県教委 行きたい学校づくり支援事業初年度。魅力のある普通科高校として、大学の先端設備を活用したスポーツ分野のカリキュラム研究を重ね、新たな取組を加える。 <ul style="list-style-type: none"> 先端施設を活用した授業実践や運動部の活動改善を目指した研究の継続 高大連携による教育資源の相互活用、情報交換など スポーツコース長を主とし実施委員会で進捗状況や成果、課題を共有する。 中学校訪問や学校説明会の際、学校紹介の広報誌やスポーツコースに特化したパンフレットを通し、本校での試みを周知することにより入学志願者の増加に繋げていく。 連携大学の静岡産業大学の支援の下、スポーツ総合演習「新しいスポーツの価値、スポーツアナリティクスへの取組み」の授業を継続して行う。 <p>先端技術を活かした新たな体育科授業実践として東京学芸大学の協力の下、ICT テクノロジーを利用した授業を体験する。今後も積極的に連携し、新たに「動作解析」を導入する等、生徒の学びの充実を図る。</p> スポーツを「する・みる・ささえる・しる」の各観点から、競技のみならず運営面も含めたスポーツ (クライミング) 見学、実習を予

年度	取組概要	成果及び課題
		<p>定している。</p> <p>6 一昨年度、東京学芸大学の協力で得た情報を基に、スポーツ総合演習でハートレートモニターを活用した持久走への取組を継続実施。北信越・東海ブロック研究会にて発表。</p>
	<p>【スポーツコミュニケーション教育】</p> <p>1 幼稚園児との交流<運動遊び> スポーツコース3年生4回(9～12月)</p> <p>2 高齢者との交流<グラウンドゴルフ> スポーツコース2年生2回(6、11月)</p>	<p>1 運動好きの子どもを育てるという視点から、園児と一緒に運動遊びを行い、運動の楽しさを伝える。4回目は、本校にて運動会を実施予定。</p> <p>2 グラウンドゴルフによって、高齢者と触れ合う経験を通じ、生徒は、高齢者の身体機能や特徴を知り、会話を通してコミュニケーション能力を育む機会とする。</p>
	<p>【スポーツコースの専門実習】</p> <p>1 マリン実習 3年生3日間(A班7月 B班8月)</p> <p>2 ゴルフ実習 2年生(5月～7月 計7回) 3年生(9月～11月 計7回)</p> <p>3 スキー実習 1、2年生3泊4日(2月)</p>	<p>スポーツコースの生徒は専門実習を通し、生涯スポーツの指導者としての資質を養うと共に、様々なジャンルのスポーツを経験する。</p> <p>1 3年生はマリン実習として三保内浜海岸でウインドサーフィンを体験。プロからの指導により基本的な技能を身に付け、海上でのルールの習得を目指す。</p> <p>2 校内で基礎練習2年2時間、3年1時間、千代ゴルフガーデンで2年4時間、3年5時間、コース実習を1回ずつ実施する。プロから基礎的な技能や技術、コースマナー等について指導を受ける。</p> <p>3 1、2年生は長野県志賀高原で3泊4日のスキー実習を実施する。生徒はシーズンスポーツを経験し自然に親しみながらスポーツに関する視野を広げることができる。</p>
	<p>【スポーツコース発展のための活動】 スポーツコース発展のためのプロジェクト、体育学科等の全国組織加盟6年目。北信越・東海ブロック体育学科・コース連絡協議会の開催(6月本校会場)</p>	<p>県内で唯一全国高等学校体育学科・コース連絡協議会に加盟し6年目を迎える。</p> <p>本校を会場に行われた北信越・東海ブロック体育学科・コース連絡協議会で本校での取組を発表した。(6月)</p>
	<p>【静岡産業大学スポーツ科学部との教育連携】</p>	<p>静岡産業大学と連携し、大学の施設や人材を活かすことでスポーツコースの教育課程の研究を推進していく。(スポーツアナリティクスコンペティション)</p>
	<p>【職員研修】</p> <p>1 学習法講座</p> <p>2 特別支援教育(1)</p> <p>3 特別支援教育(2)</p>	<p>1 東京大学と連携し、学び方を意識した授業研修を行い、授業公開を行った。(6月)</p> <p>2 相談室主催で差別の解消、特別支援関係事業の紹介等に関する研修を行った。(8月)</p> <p>3 総合教育センター主催で発達支持的な生徒指導の充実について、事例研究を行った。(9月)</p>

年度	取組概要	成果及び課題
	【職員広報委員会】 1 Nnavi！（静岡西情報フリーマガジン）13号（7月発行）、14号（10月発行） 2 スポーツコースで輝く！ みらい探究コースで輝く！	職員広報委員会による広報活動として、本校独自のフリーマガジンやスポーツコース、みらい探究コース、各コースに特化したパンフレットを発行、市内中学校等に配布した。中学生や保護者から今年度も好評を得ている。充実した内容にするための取材や編集作業等の負担等、一部課題を残す。
	【学習支援・進路支援】 大学見学、早朝補講、放課後補講、夏期特別補講、センター試験直前講座、個別面談、個別指導の実施	2年特進クラスの生徒が神奈川県立保健福祉大学、神奈川大学を訪問した。大学の雰囲気味わうことで自らの進路について考え、目標を設定するきっかけとなった。
	【公開授業週間】 11月に1週間実施	地域とともにある学校を目指し、公開授業を行っている。教員間で互いに参観し、授業力の向上を目指す。また、文化部の作品展示、発表を地域住民、学校運営協議会委員、中学校教諭、保護者等関係者に広く公開している。
	【職員・管理職による中学校訪問（情報交換）】	6～7月に校長と副校長、教頭、広報委員が市内外中学校（45校）を訪問した。 10月には副校長、教頭、広報委員が11月学校説明会等のチラシを作成し、周知のため中学校訪問を行い、本校の特徴、両コースの紹介等をお伝えする。

年度	取組概要	成果及び課題
令和7年度	【大学での高度な学びと連続したスポーツに関するカリキュラムの構築】 1 行きたい学校づくり推進事業 2 行きたい学校づくり事業実施委員会の設置と情報共有 3 「スポーツコース」の充実 4 大学連携授業 （5・6・7・9・10・11・12・1月） 5 競技スポーツ観戦（3学期） 6 既存の行事の拡大と充実	1 県教委 行きたい学校づくり支援事業2年目。魅力のある普通科高校として、大学の先端設備を活用したスポーツ分野のカリキュラム研究を重ね、新たな取組を加える。 ・先端施設を活用した授業実践や運動部の活動改善を目指した研究の継続 ・高大連携による教育資源の相互活用、情報交換など 2 スポーツコース長を主とし実施委員会で進捗状況や成果、課題を共有する。 3 中学校訪問や学校説明会の際、学校紹介の広報誌やスポーツコースに特化したパンフレットを通し、本校での試みを周知することにより入学志願者の増加に繋げていく。 4 連携大学の静岡産業大学の支援の下、スポーツ総合演習「新しいスポーツの価値、スポーツアナリティクスへの取組み」の授業を継続して行う。 先端技術を活かした新たな体育科授業実践として東京学芸大学（スポーツ庁、文部科学省委託事業）との連携を深め、ICTテクノロジーを利用した授業を実施する。今後も積極的に連携し、「動作解析」の活用方法等、生

年度	取組概要	成果及び課題
		徒の学びの充実を図る。 5 スポーツを「する・みる・ささえる・しる」の各観点から、競技のみならず運営面も含めたスポーツ見学、実習を予定している。 6 東京学芸大学の協力で得た情報を基に、スポーツ総合演習でハートレートモニターを活用した持久走への取組を継続実施。
	【スポーツコミュニケーション教育】 1 幼稚園児との交流<運動遊び> スポーツコース3年生4回(9～12月) 2 高齢者との交流<グラウンドゴルフ> スポーツコース2年生2回(6、11月)	1 運動好きの子どもを育てるという視点から、園児と一緒に運動遊びを行い、運動の楽しさを伝える。4回目は、本校にて運動会を実施予定。 2 グラウンドゴルフによって、高齢者と触れ合う経験を通じ、生徒は、高齢者の身体機能や特徴を知り、会話を通してコミュニケーション能力を育む機会とする。
	【スポーツコースの専門実習】 1 マリン実習 3年生3日間(8月) 2 ゴルフ実習 2年生(5月～7月 計7回) 3年生(9月～11月 計7回) 3 スキー実習 1、2年生3泊4日(2月)	スポーツコースの生徒は専門実習を通し、生涯スポーツの指導者としての資質を養うと共に、様々なジャンルのスポーツを経験する。 1 3年生はマリン実習として三保内浜海岸でウインドサーフィンを体験。プロからの指導により基本的な技能を身に付け、海上でのルールの習得を目指す。 2 校内で基礎練習2年2時間、3年1時間、千代ゴルフガーデンで2年4時間、3年5時間、コース実習を1回ずつ実施する。プロから基礎的な技能や技術、コースマナー等について指導を受ける。 3 1、2年生は長野県志賀高原で3泊4日のスキー実習を実施する。生徒はシーズンスポーツを経験し自然に親しみながらスポーツに関する視野を広げることができる。
	【スポーツコース発展のための活動】 スポーツコース発展のためのプロジェクト、体育学科等の全国組織加盟7年目。	全国高等学校体育学科・コース連絡協議会に加盟しや年目を迎える。北信越・東海ブロック体育学科・コース連絡協議会で本校での取組を発表した。(6月)
	【静岡産業大学スポーツ科学部との教育連携】	静岡産業大学と連携し、大学の施設や人材を活かすことでスポーツコースの教育課程の研究を推進していく。(スポーツアナリティクスコンペティション)
	【職員研修】 1 学習法講座 2 特別支援教育(1) 3 特別支援教育(2) 4 情報モラル教育 5 ICTを活用した効率的な探究学習の進め方	1 東京大学と連携し、学び方を意識した授業研修を行い、授業公開を行った。(6月) 2 相談室主催で差別の解消、特別支援関係事業の紹介等に関する研修を行った。(8月) 3 総合教育センター主催で発達支持的な生徒指導の充実について、事例研究を行った。(9月) 4 静岡大学教育学部と連携し、情報モラル教

年度	取組概要	成果及び課題
		育の研修を実施予定。(10月) 5 静岡大学教育学部と連携し、ICT[を活用した探究学習について研修を実施予定。(10月)
	【職員広報委員会】 1 Nnavi! (静岡西情報フリーマガジン) 15号(7月発行)、16号(10月発行) 2 スポーツコースで輝く! みらい探究コースで輝く!	職員広報委員会による広報活動として、本校独自のフリーマガジンやスポーツコース、みらい探究コース、各コースに特化したパンフレットを発行、市内中学校等に配布した。中学生や保護者から今年度も好評を得ている。充実した内容にするための取材や編集作業等の負担等、一部課題を残す。
	【学習支援・進路支援】 大学見学、放課後補講、夏期特別補講、センター試験直前講座、個別面談、個別指導の実施	2年みらい探究コースの生徒が東京大学と明治大学を訪問した。大学の雰囲気味わうことで自らの進路について考え、目標を設定するきっかけとなった。
	【公開授業週間】 11月に1週間実施	地域とともにある学校を目指し、公開授業を行っている。教員間で互いに参観し、授業力の向上を目指す。また、文化部の作品展示、発表を地域住民、学校運営協議会委員、中学校教諭、保護者等関係者に広く公開している。
	【職員・管理職による中学校訪問(情報交換)】	6～7月に校長と副校長、教頭、広報委員が市内外中学校(45校)を訪問した。 10月には副校長、教頭、広報委員が11月学校説明会等のチラシを作成し、周知のため中学校訪問を行い、本校の特徴、両コースの紹介等をお伝えする。

5 教職員について

(1) 異動状況

(単位：人)

職名 区分	本務職員										臨時・会計年度任用職員					合計			
	教育職員							行政職員			本務計	A L T	非常勤講師	S C	部活動指導員		非常勤労務職員	臨時計	
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	小計	事務長	主査									小計
転出者		1	1	6		1		9		1	1	10						0	10
退職者								0			0	0		3		2	1	6	6
再任用(退職)				2	1			3			0	3						0	3
転入者		1	1	3			1	6		1	1	7						0	7
新任者				1				1			0	1		2		1	1	4	5
再任用(新任)				1				1			0	1						0	1
差引増減	0	0	0	△3	△1	△1	1	△4	0	0	0	△4	0	△1	0	△1	0	△2	△6

(2) 現員数

(令和7年9月30日現在) (単位：人)

職名	本務職員										臨時・会計年度任用職員					合計		
	教育職員							行政職員			本務計	A L T	非常勤講師	S C	部活動指導員		非常勤労務職員	臨時計
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	小計								
人数	1	1	1	24	1	1	29	1	2	3	32	1	7	2	1	3	14	46

※再任用教諭：週19時間25分 4人

(3) 健康管理について

ア 令和6年度

教職員の健康の保持・増進を図るため、次の取組を計画した。

- ・定期健康診断の受診により、早期発見・治療の促進に努める。
- ・月例の職員安全衛生委員会を開催し、職場環境の改善を行う。
- ・各自定時退勤曜日を週一日申告し、総労働時間の短縮に努める意識づけをする。
- ・管理職による長時間勤務の教職員を対象に面談を行う。
必要に応じて疲労蓄積度自己診断チェックリストを配布し状況を把握する。
月ごとに産業医に報告する。

イ 令和7年度

教職員の健康の保持・増進を図るため、次の取組を計画した。

- ・定期健康診断の受診により、早期発見・治療の促進に努める。
- ・月例の職員安全衛生委員会を開催し、職場環境の改善を行う。

- ・各自定時退勤曜日を週一日申告し、総労働時間の短縮に努める意識づけをする。
- ・管理職による長時間勤務の教職員を対象に面談を行う。
必要に応じて疲労蓄積度自己診断チェックリストを配布し状況を把握する。
月ごとに産業医に報告する。

(4) 教職員の研修について

本校の取組目標の中から特に「基礎学力の定着」「主体的に取り組む資質、能力の育成」を目指し研修を行った。また、情報モラル研修の実施や会計関係研修会への参加、職員会議におけるコンプライアンス研修等、職員の資質の向上や、法令遵守に対する意識の向上に努めている。

〈令和6年度〉

研修の目的	研修内容	成果・課題
授業力向上	<p>東京大学と連携し、学び方を意識した授業研修を実施する。また、講座を意識した授業を年2回公開する。</p> <p>年次研修等の対象者による研究授業や学校公開週間における、教員間での授業参観など、教科横断的に授業改善に役立てる。</p> <p>ICT(パワーポイントや動画等)を活用する。</p>	<p>東京大学からアドバイスをいただきながら授業展開を考え、実践に生かす。また、生徒へも講座を実施し、教員と生徒が同じ視点で授業を行うことができるようにする。</p> <p>授業実践の場として、授業公開週間で研究授業を実施し、互いの授業を見ることで、授業改善に繋げる。</p>
総合的な探究の時間「みらいプロジェクト」におけるカリキュラム研究	<p>みらい探究コース開設に伴い、3年間でつきたい力を教員全員で共有できるよう、月に1回、研修に取り組む。</p>	<p>みらいプロジェクトに全職員で取り組む意識を高め、3年間のカリキュラムについて検討を加え、内容の共有を図る。</p>
スポーツコースのカリキュラム研究	<p>スポーツコースのカリキュラムについて大学と連携し、研究していく。</p>	<p>カリキュラム等についての情報を共有し、現在のスポーツコースのカリキュラム改善に活かす。本校の取組を全国高等学校体育学科・コース連絡協議会北信越・東海ブロックで発表した。</p>
救急法の習得	<p>心肺蘇生法及びAEDの取扱実技を行い、非常時に備える。</p>	<p>1月のマラソン大会に向けて、緊急時の対応や器具の取扱いを実際に行い、緊急時に備える。</p>
スクールコンプライアンス	<p>不祥事根絶に向け、県教育委員会から配布されるコンプライアンス通信をもとに、月例の研修を行う。職場の健康づくり支援事業<ハラスメント予防>研修を行う。</p>	<p>職員会議の中で事例研究を盛り込む等、法令を遵守する意識を高める。体罰防止研修では、グループワークを採り入れ、互いに意見を交換しながら、必要な姿勢や心構え等の共有を図る。</p>

〈令和7年度〉

研修の目的	研修内容	成果・課題
ICT活用	<p>ICTを活用した探究学習について、外部講師を招いて研修を行い、授業等での活用の実際について学ぶ。</p>	<p>外部講師を招聘し、ICT機器の効果的な活用法および情報モラルの向上について職員全体で共有した。</p>

授業力向上	年次研修対象教員による研究授業や、総合教育センターの定期訪問の際の研究授業と事後研修を通し、教科横断的に授業改善に役立てる。	生徒の主体的で深い学びを促すために、授業内における学習形態や教員の効果的な発問や指示等に注目して研究協議を行った。
特別支援教育の視点からの指導と支援	相談室主催の研修、総合教育センター主催の校内研修を通して、特別支援教育に対する理解を深め、事例研修を通して生徒指導の在り方の実際を学び共有する。	特別支援教育に関する基本的な概念の理解に始まり、個々に応じた対応の具体例を参考に、本校における生徒対応の現状を確認し、改善のための指針を得た。保健室、相談室と学年との連携を大切に進めた。
スポーツコースのカリキュラムの充実	スポーツに関連する科を設置している先進校訪問で得た情報を共有する。大学等との連携を活かし、授業改善につなげる。	大学等との連携授業について報道機関の取材を受け、広く地域に発信した。関係者からの助言を受けて、現在のカリキュラムの改善に活かした。次年度、全国高等学校体育学科・コース連絡協議会北信越・東海ブロックで本校の実践を発表する準備を着実に進めた。
スクールコンプライアンス	不祥事根絶に向け、県教育委員会から配布されるコンプライアンス通信を活用しながら、月例の職員会議で研修を行う。	他校の事例を参考に研修をすることで、個々に自身を振り返る機会とし、法令遵守に対する意識を高めた。

6 防災対策について

防災管理の徹底を期し、施設・設備の保全、点検のほか災害時の物的人的被害を防止軽減するため、次のような組織を設け、訓練を実施している。

(1) 防災組織

防災対策委員会で防災についての計画立案を行い、全職員と生徒による自衛防災組織（本部、情報連絡、避難誘導、消火、搬出、警備、救護、電気機械設備の各班）を作り、非常時の任務を明確にするとともに、警戒宣言や災害発生の際の行動単位集団として、15地区の通学地区別班（出身中学校単位）を編成している。また、生徒会組織の防災委員会では、様々な活動を通じて防災意識の高揚を図り、災害時にリーダーとなる生徒の育成を目指している。

(2) 防災訓練

ア 令和6年度

第1回防災訓練（4/22）は、雨天のため、マグニチュード8、震度6以上の南海トラフ巨大地震を想定した避難経路の確認と、地区別集団下校訓練用の名簿を作成し、地区代表生徒を学年ごとに決め、地区別下校及び警報発令時の対応確認を行った。

第2回防災訓練（12/1）は、自衛隊の協力の下、2時間の防災プログラムの受講、体験を実施した。

イ 令和7年度

第1回防災訓練（4/21）は、マグニチュード8、震度6以上の南海トラフ巨大地震を想定し、「抜き打ち」の形で避難訓練を実施した。避難経路の確認、地区別集団下校用の名簿を作成し、地区別下校及び警報発令時の対応確認を行った。

第2回防災訓練（12/16）は、自衛隊の協力の下、2時間の防災プログラムの受講、体験を実施予定。

(3) 地域防災

ア 令和6年度

8月の台風接近による大雨時に牧ヶ谷地区自治会により避難所を開設。1組2名が避難した。12月に自治会防災訓練の会場として放水等の訓練を実施した。

イ 令和7年度

12月に自治会防災訓練の会場としてマンホールトイレの設営等を実施する予定である。

7 学校開放について

地域住民のスポーツ活動を中心とした生涯学習活動振興のために学校教育上支障のない範囲において、体育施設の開放を実施した。

〈令和6年度の利用状況〉

施設名	延利用日数	延利用人数	利用者負担金	主な利用種目・団体
体育館	244日	5,053人	29,868円	バレーボール等地域住民
運動場	0日	0人	0円	

〈令和7年度の利用状況〉

(令和7年9月30日現在)

施設名	延利用日数	延利用人数	利用者負担金	主な利用種目・団体
体育館	92日	1,859人	6,313円	バレーボール等地域住民
運動場	0日	0人	0円	

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、 第56条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法(第11条) 理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 社会教育法（第43条、第45条、第47条） 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県立学校処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 県立高等学校授業料口座振替事務取扱要領 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県公立高等学校等奨学給付金事務処理要綱 静岡県高等学校等教育資金及び静岡県高等学校等奨学金貸与規則 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） いじめ防止対策推進法（第8条、第22条、第28条） 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律 個人情報の保護に関する法律

学校施設の概要

1 面積及び所有区分

(令和7年9月30日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	44,717.46	44,717.46					
内 訳	校 舎 敷 地	16,430.00	16,430.00				
	運 動 場 敷 地	28,287.46	28,287.46				
	そ の 他 の 敷 地						
実 習 地							
内 訳	田						
	畑						
	茶 園						
	果 樹 園						
演 習 林							
校 舎	建 2,669.64	2,669.64					
	延 8,561.41	8,561.41					
体 育 館	建 1,253.20	666.90			586.30		体育館1階
	延 2,703.49	2,117.19			586.30		トレーニング室
武 道 場	建 146.22	146.22					
	延 117.20	117.20					
そ の 他 の 建 物	建 2,505.71	2,359.87			145.84		体育器具庫
	延 2,505.71	2,359.87			145.84		他
生 活 館	建 612.73	612.73					
	延 804.00	804.00					
プ ー ル	400	400					25×16m 8コース

在籍生徒調

(令和7年9月30日現在)

学年	学科別		普通科					
	区分		定員	男子	女子	計		
1年	入学者		80	51	31	82		
		増加						
		減少			1	1		
	現在				51	30	81	
2年	入学者			120	62	32	94	
		増加						
		減少		3	1	4		
	2年時当初				59	31	90	
		増加						
		減少						
現在					59	31	90	
3年	入学者		120		43	42	85	
		増加						
		減少			3	5	8	
	2年時当初				40	37	77	
		増加						
		減少			2	3	5	
	3年時当初					38	34	72
		増加						
減少								
現在			38			34	72	
合計			320			148	95	243

入学志願者及び入学者数調

区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
学 科 別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員 (A)		160	160	120	120	80
募集者数 (B)		160	160	120	120	80
志願者数	男	45(0)	49(1)	44(1)	68(1)	55(0)
	女	42(0)	46(0)	42(0)	32(1)	32(0)
	計 (C)	87(0)	95(1)	86(1)	100(2)	87(0)
受検者数	男	45(0)	49(1)	43(1)	68(1)	55(0)
	女	42(0)	46(0)	42(0)	32(1)	32(0)
	計 (D)	87(0)	95(1)	85(1)	100(2)	87(0)
合格者数	男	44(0)	49(0)	42(1)	62(1)	51(0)
	女	41(0)	46(0)	42(0)	32(1)	31(0)
	計 (E)	85(0)	95(0)	84(1)	94(2)	82(0)
志願倍率 (C)/(B)		0.54	0.59	0.72	0.83	1.09
受検倍率 (D)/(B)		0.54	0.59	0.71	0.83	1.09
入学者数	男	43	49	43	62	51
	女	41	46	42	32	31
	計 (F)	84	95	85	94	82
充足率 (F)/(A)		0.53	0.59	0.71	0.78	1.03

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況

学 科 別		普通科			
		4 年度	5 年度	6 年度	
卒業生徒数		131	71	82	
内 訳	(進学志願者)	112	60	62	
	進学者	大学・短大	62	37	43
		専修・各種専門学校	48	22	19
		小 計	110	59	62
	就職者		17	9	19
	自営者		0	0	0
	進学準備者		2	1	0
	その他		2	2	1
合 計		131	71	82	

2 求人状況

区 分	4 年度	5 年度	6 年度
就職希望者数	17	10	20
求 人 数	47	27	38
求人倍率	2.8	2.7	1.9

3 資格取得状況 (令和6年度)

学 科 別		普通科
卒業生徒数		82
資格の取得状況	英語検定2級	3
	英語検定準2級	7
	漢字検定2級	0
	漢字検定準2級	0
合 計		10

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年9月30日現在) (単位：人)

市町名	静岡市	焼津市	藤枝市	その他 (県内)	その他 (県外)	合 計
生徒数	234	4	2	3	0	243
構成比%	96.3	1.6	0.8	1.2	0	100%

(2) 通学方法 (令和7年9月30日現在) (単位：人)

区 分	自転車	自転車・交通機関併用	交通機関等	合 計
生徒数	223	12	8	243
構成比%	91.8	4.9	3.3	100%

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年9月30日現在) (単位：人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		11	5		16
男子	1年	38	13	0	51
	2年	43	7	9	59
	3年	19	11	8	38
	計(A)	100	31	17	148
	構成比%	67.6%	20.9%	11.5%	100%
女子	1年	20	10	0	30
	2年	17	8	6	31
	3年	15	14	5	34
	計(B)	52	32	11	95
	構成比%	54.7%	33.7%	11.6%	100%
合計	(A+B)	152	63	28	243
	構成比%	62.6%	25.9%	11.5%	100%

授業料収納状況調

(令和6年度)

期別	月別	調定の状況								収納の状況				異動者等の状況
		1年		2年		3年		計		納期内収納額		納期後	収入	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率	収納額	未済額	
一期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額＝ 891,000 円 (30 人× 9,900 円× 3 月) B. 収納権利増減(▲)額＝ 0 円 C. 収納必要額A(±)B＝ 891,000 円
	5													
	6													
	7	7	207,900	12	356,400	11	326,700	30	891,000	861,300	96.7	29,700	0	
	8													
	計	7	207,900	12	356,400	11	326,700	30	891,000	861,300	96.7	29,700	0	
二期	7													A. 期首収納権利発生額＝ 1,811,700 円 (36 人× 9,900 円× 5 月) (1 人× 9,900 円× 3 月) B. 収納権利増減(▲)額＝ 0 円 C. 収納必要額A(±)B＝ 1,811,700 円
	8													
	9													
	10	12	574,200	13	643,500	12	594,000	37	1,811,700	1,514,700	83.6	297,000	0	
	11													
	計	12	574,200	13	643,500	12	594,000	37	1,811,700	1,514,700	83.6	297,000	0	
三期	12													A. 期首収納権利発生額＝ 1,425,600 円 (36 人× 9,900 円× 4 月) B. 収納権利増減(▲)額＝ 0 円 C. 収納必要額A(±)B＝ 1,425,600 円
	1	11	435,600	13	514,800	12	475,200	36	1,425,600	1,267,200	88.9	158,400	0	
	2													
	3													
	計	11	435,600	13	514,800	12	475,200	36	1,425,600	1,267,200	88.9	158,400	0	
合計		30	1,217,700	38	1,514,700	35	1,395,900	103	4,128,300	3,643,200	88.2	485,100	0	D. 収納必要額＝ 4,128,300 円

授業料収納状況調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

期別	月別	調定の状況								収納の状況				異動者等の状況
		1年		2年		3年		計		納期内収納額		納期後 収納額	収入 未済額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率			
一期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額＝ 19,800 円 (1人× 9,900 円× 2月) B. 収納権利増減(▲)額＝ 0 円 C. 収納必要額A(±)B＝ 19,800 円
	5													
	6	1	19,800					1	19,800	19,800	100.0	0	0	
	7													
	8													
	計	1	19,800	0	0	0	0	1	19,800	19,800	100.0	0	0	
二期	7													A. 期首収納権利発生額＝ 0 円 B. 収納権利増減(▲)額＝ ▲ 19,800 円 3年 ▲ 1 19,800円 4月～臨時支援金遡及認定者 C. 収納必要額A(±)B＝ ▲ 19,800 円
	8													
	9	▲ 1	▲ 19,800					▲ 1	▲ 19,800	▲ 19,800				
	10													
	11													
	計	▲ 1	▲ 19,800	0	0	0	0	▲ 1	▲ 19,800	▲ 19,800	100.0	0	0	
三期	12													
	1													
	2													
	3													
	計													
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	D. 収納必要額＝ 0 円	

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	30,384,250	29,899,150	485,100
項 01使用料	29,827,650	29,342,550	485,100
目 09教育使用料	29,827,650	29,342,550	485,100
02全日制高等学校授業料	29,818,800	29,333,700	485,100
08庁舎等使用料	8,850	8,850	0
項 02手数料	556,600	556,600	0
目 07教育手数料	556,600	556,600	0
01高等学校入学料	531,100	531,100	0
02証明書発行手数料	25,500	25,500	0
款 10財産収入	642,000	642,000	0
項 01財産運用収入	642,000	642,000	0
目 01財産貸付収入	642,000	642,000	0
02土地貸付料	642,000	642,000	0
款 14諸収入	764,452	763,648	804
項 07雑入	764,452	763,648	804
目 02雑入	764,452	763,648	804
87保険料負担金	483,163	483,163	0
保険料負担金	83,820	83,820	0
非常勤職員	399,343	399,343	0
90雑収	281,289	280,485	804
雑収	277,489	276,685	804
古新聞・雑誌	3,800	3,800	0
計	31,790,702	31,304,798	485,904

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	6,705,530	6,705,530	0
項 01使用料	6,235,930	6,235,930	0
目 10教育使用料	6,235,930	6,235,930	0
02全日制高等学校授業料	6,227,100	6,227,100	0
08庁舎等使用料	8,830	8,830	0
項 02手数料	469,600	469,600	0
目 09教育手数料	469,600	469,600	0
01高等学校入学料	463,300	463,300	0
02証明書発行手数料	6,300	6,300	0
款 10財産収入	40,000	40,000	0
項 01財産運用収入	40,000	40,000	0
目 01財産貸付収入	40,000	40,000	0
02土地貸付料	40,000	40,000	0
款 14諸収入	194,842	182,673	528
項 07雑入	194,842	182,673	528
目 02雑入	194,842	182,673	528
90保険料負担金	125,899	125,899	0
保険料負担金	100,596	100,596	0
非常勤職員	25,303	25,303	0
93雑収	68,943	56,774	528
雑収	63,493	51,324	528
古新聞・雑誌	5,450	5,450	0
計	6,940,372	6,928,203	528

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度 (令和 7 年 9 月 30 日現在)
	件 数	件 数
入学検定料	87	0

現 金 出 納 調

静岡西高等学校

(令和 6年度)

(令和 7年 5月31日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出 納 員 領 収 書 発 行 総 額 及 び 枚 数	現 金 払 込 調 書 兼 領 収 書 総 額 及 び 枚 数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 556,600	円 556,600	円 556,600	円 0	円 556,600 143 枚	円 556,600 49 枚
雑入	0	3,800	3,800	3,800	0	3,800 1 枚	3,800 1 枚
計	0	560,400	560,400	560,400	0	560,400 144 枚	560,400 50 枚

Z1B0110
Z1RB0110

現 金 出 納 調

静岡西高等学校

(令和 7年度)

(令和 7年 9月30日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 469,600	円 469,600	円 469,600	円 0	円 469,600 102 枚	円 469,600 20 枚
雑入	0	5,450	5,450	5,450	0	5,450 1 枚	5,450 1 枚
計	0	475,050	475,050	475,050	0	475,050 103 枚	475,050 21 枚

Z1B0110
Z1RB0110

預 金 調

(令和7年9月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
しずおか焼津信用金庫 安西支店	無利息型 普通預金	0484001	静岡県立静岡西高等学校 資金前渡者 校長 松場 勉	0	給与
静岡銀行 安西支店	無利息型 普通預金	0300314	(自振口)静岡県立静岡西高等学校 資金前渡者 校長 松場 勉	0	自動振替経費 (電気、水道料等)
残 高 合 計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和7年9月30日現在)

(単位：枚)

区分	種類	令和6年度						令和7年度						摘要	
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		
該当なし		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
計		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

歳入歳出外現金調

県立高校中学校 静岡西高校

(令和 6年度)
(令和 7年 3月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
地方職員共済組合掛金等	円 0	円 22,889	円 22,889	円 0	
公立学校共済組合掛金等	0	259,072	259,072	0	
教職員互助組合掛金等	0	18,730	18,730	0	
所得税	15,422	323,957	310,904	28,475	
保証金	64,200	4,000	0	68,200	
計	79,622	628,648	611,595	96,675	

Z1B0070
Z1RB0070

歳入歳出外現金調

県立高校中学校 静岡西高校

(令和 7年度)
(令和 7年 9月30日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 134,081	円 134,081	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	6,994	6,994	0	
所得税	28,475	192,455	204,318	16,612	
保証金	68,200	0	64,200	4,000	
計	96,675	333,530	409,593	20,612	

Z1B0070
Z1RB0070

歳出予算執行状況調

(令和 6年度)
(令和 7年 5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 06 スポーツ・文化観光費	0	0	0	
項 04 観光交流費	0	0	0	
目 01 観光費	0	0	0	
07 報償費	0	0	0	
02 買上金	0	0	0	
款 11 教育費	71,756,938	71,756,938	0	
項 02 教育委員会費	3,715,116	3,715,116	0	
目 02 教育総務費	613,116	613,116	0	
01 報酬	584,174	584,174	0	
03 非常勤職員報酬	584,174	584,174	0	
08 旅費	28,942	28,942	0	
01 その他の旅費	28,942	28,942	0	
目 03 教育管理費	2,982,000	2,982,000	0	
08 旅費	5,000	5,000	0	
02 普通旅費	5,000	5,000	0	
10 需用費	2,977,000	2,977,000	0	
01 その他の需用費	2,977,000	2,977,000	0	
目 04 教育厚生費	120,000	120,000	0	
01 報酬	120,000	120,000	0	
03 非常勤職員報酬	120,000	120,000	0	
項 05 高等学校費	63,123,288	63,123,288	0	
目 01 高等学校総務費	15,483,020	15,483,020	0	
01 報酬	11,464,563	11,464,563	0	
03 非常勤職員報酬	11,464,563	11,464,563	0	
03 職員手当等	2,359,840	2,359,840	0	
01 その他の職員手当等	2,359,840	2,359,840	0	
04 共済費	940,401	940,401	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	940,401	940,401	0	

Z1B0030
Z1RB0030

県立高校中学校 静岡西高校

一般会計

(令和 6年度)
(令和 7年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
08 旅費	718,216	718,216	0	
01 その他の旅費	492,697	492,697	0	
02 普通旅費	225,519	225,519	0	
目 02 高等学校管理費	47,640,268	47,640,268	0	
01 報酬	1,209,590	1,209,590	0	
03 非常勤職員報酬	1,209,590	1,209,590	0	
04 共済費	638	638	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	638	638	0	
07 報償費	40,000	40,000	0	
01 その他の報償費	40,000	40,000	0	
08 旅費	1,934,995	1,934,995	0	
01 その他の旅費	61,008	61,008	0	
02 普通旅費	1,873,987	1,873,987	0	
10 需用費	7,191,582	7,191,582	0	
01 その他の需用費	7,191,582	7,191,582	0	
11 役務費	982,293	982,293	0	
12 委託料	2,944,150	2,944,150	0	
13 使用料及び賃借料	870,860	870,860	0	
17 備品購入費	2,464,660	2,464,660	0	
18 負担金、補助及び交付金	25,702,500	25,702,500	0	
19 扶助費	4,299,000	4,299,000	0	
項 07 特別支援学校費	461,670	461,670	0	
目 02 特別支援学校管理費	461,670	461,670	0	
12 委託料	461,670	461,670	0	
項 08 学校教育費	4,456,864	4,456,864	0	
目 01 高校教育費	2,925,709	2,925,709	0	
01 報酬	750,000	750,000	0	
03 非常勤職員報酬	750,000	750,000	0	

Z1B0030
Z1RB0030

一般会計

(令和 6年度)
(令和 7年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
04 共済費	2,135	2,135	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	2,135	2,135	0	
07 報償費	963,200	963,200	0	
01 その他の報償費	963,200	963,200	0	
08 旅費	216,995	216,995	0	
01 その他の旅費	34,574	34,574	0	
02 普通旅費	182,421	182,421	0	
10 需用費	411,605	411,605	0	
01 その他の需用費	411,605	411,605	0	
11 役務費	2,574	2,574	0	
13 使用料及び賃借料	554,200	554,200	0	
18 負担金、補助及び交付金	25,000	25,000	0	
目 04 健康体育費	1,531,155	1,531,155	0	
01 報酬	1,082,000	1,082,000	0	
03 非常勤職員報酬	1,082,000	1,082,000	0	
07 報償費	64,800	64,800	0	
01 その他の報償費	64,800	64,800	0	
08 旅費	252,795	252,795	0	
01 その他の旅費	252,795	252,795	0	
11 役務費	131,560	131,560	0	
計	71,756,938	71,756,938	0	

歳出予算執行状況調

(令和 7年度)
(令和 7年 9月30日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 12教育費	63,189,412	21,571,125	41,618,287	
項 02教育委員会費	2,113,000	638,472	1,474,528	
目 03教育管理費	1,993,000	638,472	1,354,528	
08旅費	5,000	1,572	3,428	
02普通旅費	5,000	1,572	3,428	
10需用費	1,988,000	636,900	1,351,100	
01その他の需用費	1,988,000	636,900	1,351,100	
目 04教育厚生費	120,000	0	120,000	
01報酬	120,000	0	120,000	
03非常勤職員報酬	120,000	0	120,000	
項 05高等学校費	56,248,075	19,751,693	36,496,382	
目 01高等学校総務費	12,263,000	5,925,863	6,337,137	
01報酬	9,177,000	4,383,731	4,793,269	
03非常勤職員報酬	9,177,000	4,383,731	4,793,269	
03職員手当等	1,992,000	946,319	1,045,681	
01その他の職員手当等	1,992,000	946,319	1,045,681	
04共済費	744,000	398,493	345,507	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	744,000	398,493	345,507	
08旅費	350,000	197,320	152,680	
01その他の旅費	350,000	197,320	152,680	
目 02高等学校管理費	43,985,075	13,825,830	30,159,245	
01報酬	212,000	150,450	61,550	
03非常勤職員報酬	212,000	150,450	61,550	
04共済費	3,000	128	2,872	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,000	128	2,872	
07報償費	280,000	45,000	235,000	
01その他の報償費	280,000	45,000	235,000	
08旅費	2,028,440	469,812	1,558,628	

Z1B0030
Z1RB0030

一般会計

(令和 7年度)
(令和 7年 9月30日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 その他の旅費	78,440	16,425	62,015	
02 普通旅費	1,950,000	453,387	1,496,613	
10 需用費	7,175,735	2,917,195	4,258,540	
01 その他の需用費	7,175,735	2,917,195	4,258,540	
11 役務費	1,077,000	425,175	651,825	
12 委託料	3,311,900	1,439,570	1,872,330	
13 使用料及び賃借料	875,000	300,300	574,700	
17 備品購入費	3,282,000	1,816,100	1,465,900	
18 負担金、補助及び交付金	25,740,000	6,262,100	19,477,900	
項 07 特別支援学校費	432,300	172,150	260,150	
目 02 特別支援学校管理費	432,300	172,150	260,150	
12 委託料	432,300	172,150	260,150	
項 08 学校教育費	4,396,037	1,008,810	3,387,227	
目 01 高校教育費	3,041,500	485,963	2,555,537	
01 報酬	750,000	270,000	480,000	
03 非常勤職員報酬	750,000	270,000	480,000	
04 共済費	2,000	0	2,000	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	2,000	0	2,000	
07 報償費	966,500	54,000	912,500	
01 その他の報償費	966,500	54,000	912,500	
08 旅費	200,000	8,213	191,787	
01 その他の旅費	53,000	8,213	44,787	
02 普通旅費	147,000	0	147,000	
10 需用費	138,400	84,150	54,250	
01 その他の需用費	138,400	84,150	54,250	
13 使用料及び賃借料	959,600	69,600	890,000	
18 負担金、補助及び交付金	25,000	0	25,000	
目 04 健康体育費	1,354,537	522,847	831,690	

一般会計

(令和 7年度)
(令和 7年 9月30日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 報酬	560,000	210,000	350,000	
03 非常勤職員報酬	560,000	210,000	350,000	
04 共済費	5,167	5,167	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	5,167	5,167	0	
07 報償費	553,540	180,000	373,540	
01 その他の報償費	553,540	180,000	373,540	
08 旅費	120,000	11,850	108,150	
01 その他の旅費	120,000	11,850	108,150	
11 役務費	115,830	115,830	0	
計	63,189,412	21,571,125	41,618,287	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	
(12) 委託料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	/	2,944,150	/
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		461,670	
計					3,190,000	3,405,820	0
(14) 工事 請負費					/		/
計					4,400,000	0	0
(16) 公有財産 購入費					/		/
計					0	0	0
(17) 備品 購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	/	2,464,660	/
計					0	2,464,660	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	/	25,702,500	/
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費		25,000	
計					25,284,300	25,727,500	0
(21) 補償、補填 及び賠償 金					/		/
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年9月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	1,439,570	0
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	172,150	0
計					1,611,720	0
(14) 工事 請負費						0
計					0	0
(16) 公有財産 購入費						
計					0	0
(17) 備品 購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	1,816,100	0
計					1,816,100	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	6,262,100	0
						0
計					6,262,100	0
(21) 補償、補填 及び賠償 金						
計					0	0

委 託 料 に 関 す る 調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 静岡県立静岡西高等学校外4校 自家用電気工作物保安管理業務	静岡ビル保善株式会社	円 2,826,175	円 2,626,800	円 ▲ 52,800	円 2,574,000	一般	自 6. 4. 1 至 7. 3. 31	6. 5. 31 6. 6. 28 6. 7. 31 6. 8. 30 6. 9. 30 6. 10. 31 6. 11. 29 6. 12. 26 7. 1. 31 7. 2. 28 7. 3. 31 7. 4. 25 小計	円 142,230 149,710 149,710 149,710 934,670 149,710 149,710 149,710 149,710 149,710 149,710 149,710 149,710 149,710 149,710 2,574,000	自家用電気工作物保安管理業務	静岡西高校 静岡商業高校 静岡農業高校 駿河総合高校 静岡聴覚特別支援学校
2	静岡県立静岡西高等学校外10校 プール浄化装置保守点検業務	大学産業株式会社	844,800	739,200	▲ 61,600	677,600	随契	自 6. 4. 15 至 6. 11. 15	6. 11. 27 小計	677,600 677,600	プール浄化装置保守点検業務	静岡西高校 静岡高校 静岡城北高校 静岡東高校 静岡農業高校 静岡商業高校 静岡中央高校 駿河総合高校 静岡視覚特別支援学校 静岡聴覚特別支援学校 静岡南部特別支援学校 清水特別支援学校 随契1号(少額)
3	産業廃棄物収集運搬処分業務	株式会社静岡資源	67,100	67,100	0	67,100	随契	自 6. 9. 17 至 6. 12. 27	6. 11. 28	67,100	産業廃棄物収集運搬処分業務	随契1号(少額)
4	産業廃棄物収集運搬処分業務	株式会社静岡資源	87,120	87,120	0	87,120	随契	自 7. 2. 7 至 7. 3. 31	7. 3. 26	87,120	産業廃棄物収集運搬処分業務	随契1号(少額)
	事務関係計	4件	3,825,195	3,520,220	△ 114,400	3,405,820				3,405,820		
	合計	4件	3,825,195	3,520,220	△ 114,400	3,405,820				3,405,820		
参考1	警備業務	エスピトーム株式会社	/	11,088,000	0	11,088,000	/	自 元. 10. 1 至 6. 9. 30	/	/	警備業務	駿河総合高校
参考2	警備業務	エスピトーム株式会社	/	12,999,360	0	12,999,360	/	自 6. 10. 1 至 11. 9. 30	/	/	警備業務	駿河総合高校
参考3	消防用設備等保守点検業務	有限会社コーセイ産業	/	7,117,792	0	7,117,792	/	自 6. 4. 1 至 7. 3. 31	/	/	消防用設備等保守点検業務	静岡東高校
参考4	可燃物収集運搬処理業務	株式会社静岡清掃企業	/	運搬料 1回 15,950 処分料単価 1kg 11.0	0	運搬料 1回 15,950 処分料単価 1kg 11.0	/	自 6. 4. 5 至 7. 3. 31	/	/	可燃物収集運搬処理業務	静岡農業高校
参考5	建築基準法第12条に基づく定期点検業務	合同会社石橋剛設計事務所	/	3,850,000	0	3,850,000	/	自 6. 8. 13 至 7. 1. 31	/	/	建築基準法第12条に基づく定期点検業務	静岡商業高校
	合計	5件	/	35,055,152	0	35,055,152	/	/	/	/	/	/

委 託 料 に 関 す る 調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計金 額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変 更 増減額	計						
1	(事務関係) 静岡県立静岡 西高等学校外4校 自家用電気 工作物保安 管理業務	静岡ビル保 善株式会社	円 2,900,370	円 2,714,360	円 ▲	円 2,714,360	一般	自 7. 4. 1 至 8. 3. 31	7. 5. 30 7. 6. 30 7. 7. 31 7. 8. 29 7. 9. 30	円 157,520 157,520 157,520 157,520 981,640	自家用電気 工作物保安 管理業務	静岡西高校 静岡商業高校 静岡農業高校 駿河総合高校 静岡聴覚特別支援学校
				小計						1,611,720		
2	静岡県立静岡 西高等学校外9校 ブルー浄化 装置保守点 検業務	三笠産業有 限会社	786,500	774,400	▲ 70,400	704,000	随契	自 7. 4. 14 至 7. 11. 28			ブルー浄化 装置保守点 検業務	静岡西高校 静岡高校 静岡城北高校 静岡東高校 静岡農業高校 静岡商業高校 静岡中央高校 駿河総合高校 中央特別支援学校 清水特別支援学校 随契1号(少額)
3	産業廃棄物 収集運搬処 分業務	株式会社静岡 資源	75,020	75,020	0	75,020	随契	自 7. 8. 22 至 7. 12. 19			産業廃棄物 収集運搬処 分業務	随契1号(少額)
	事務関係計	3件	3,761,890	3,563,780	▲ 70,400	3,493,380				1,611,720		
	合計	3件	3,761,890	3,563,780	▲ 70,400	3,493,380				1,611,720		
参考 1	警備業務	エスピトー ム株式会社		12,999,360	0	12,999,360		自 6. 10. 1 至 11. 9. 30			警備業務	駿河総合高校
参考 2	消防用設備 等保守点検 業務	有限会社 コーセイ産 業		8,067,345	290,331	8,357,676		自 7. 4. 1 至 8. 3. 31			消防用設備 等保守点検 業務	静岡東高校
参考 3	可燃物収集 運搬処理業 務	株式会社静岡 清掃企業		運搬料 1回 18,000 処分料単価 1kg 15.0	0	運搬料 1回 18,000 処分料単価 1kg 15.0		自 7. 4. 7 至 8. 3. 31			可燃物収集 運搬処理業 務	静岡農業高校
参考 4	建築基準法 第12条に基 づく定期点 検業務	N. concept 建築計画二 級建築士事 務所		3,520,000	0	3,520,000		自 7. 8. 13 至 8. 1. 30			建築基準法 第12条に基 づく定期点 検業務	静岡商業高校
	合計	4件		24,586,705	290,331	24,877,036						

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会 第76回総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催通知	全国高等学校長協会 第76回総会・研究協議会	円 4,000	6.5.1
2	全国高等学校長協会体育部会 会費	全国高等学校長協会体育部会	全国高等学校長協会体育部会規約	高等学校体育学科・コース等の育成発展と保健体育教育の振興	10,000	6.5.30
3	全国高等学校体育学科・コース連絡協議会会費	全国高等学校体育学科・コース連絡協議会	全国高等学校体育学科・コース連絡協議会規約	高等学校体育学科・コース等の育成発展と保健体育教育の振興	15,000	6.5.30
4	東海四県高等学校長 生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長 生徒指導連絡協議会	開催通知	東海四県高等学校長 生徒指導連絡協議会	2,000	6.6.28
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第1期 225人分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	6,682,500	振替日 6.7.31
6	全国普通科高等学校長会 第74回総会・研究協議会参加費	全国普通科高等学校長会	開催通知	全国普通科高等学校長会 第74回総会・研究協議会	6,000	6.8.19
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第2期 217人分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	10,622,700	振替日 6.10.31
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第2期 1人分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	△ 9,900	振替日 6.11.29
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第3期 212人分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	8,395,200	振替日 7.1.31
計		9件	/	/	25,727,500	/

負担金支出調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会 第77回総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催通知	全国高等学校長協会 第77回総会・研究協議会	円 4,000	7.5.2
2	全国高等学校長協会体育部会 会費	全国高等学校長協会体育部会	全国高等学校長協会体育部会規約	高等学校体育学科・コース等の育成発展と保健体育教育の振興	10,000	7.5.30
3	全国高等学校体育学科・コース連絡協議会会費	全国高等学校体育学科・コース連絡協議会	全国高等学校体育学科・コース連絡協議会規約	高等学校体育学科・コース等の育成発展と保健体育教育の振興	15,000	7.5.30
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第1期 209人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	6,207,300	振替日 7.7.31
5	全国普通科高等学校長会 第75回総会・研究協議会参加費	全国普通科高等学校長会	開催通知	全国普通科高等学校長会 第75回総会・研究協議会	6,000	7.8.19
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (4、5月分 1人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,800	振替日 7.9.17
計		5件			6,262,100	

建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当初額	変更増減額	計
参考 1	教育管理費	静岡西高等学校グ ラウンド防球ネッ ト設置工事	静岡市葵区 牧ヶ谷地内	円 10,780,000	円 9,900,000	円	円 9,900,000
		合計	1 件	10,780,000	9,900,000	0	9,900,000

令和7年度 該当なし

事 調

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘 要
一般	(有)翔栄建設	6.11.19 7.2.17	円 9,900,000	グラウンド西側に防球ネットを設置	済	本庁経理 静岡土木事 務所執行
			9,900,000			

公有財産調

(令和6年度)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘 要
	数量又は 面 積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又は 面 積	台 帳 価 格	
行政財産		千円 3,006,012		千円		千円		千円 2,992,049	
土 地	m ² 44,717.46	2,889,642					m ² 44,717.46	2,889,642	
立木竹	本 25	128					本 25	128	
建 物	m ² 6,455.36 <hr/> 13,959.67	97,513				20,767	m ² 6,455.36 <hr/> 13,959.67	76,746	
工作物	個 72	18,729	1	9,409		2,605	個 73	25,533	
公有財産に 準ずるもの		324						324	
電 話 加入権	件 5	324					件 5	324	

公有財産調

(令和7年度)
(令和7年9月30日)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年9月30日現在		摘 要
	数量又は 面 積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又は 面 積	台 帳 価 格	
行政財産		千円 2,992,049		千円		千円		千円 2,992,049	
土 地	m ² 44,717.46	2,889,642					m ² 44,717.46	2,889,642	
立木竹	本 25	128					本 25	128	
建 物	m ² 6,455.36 <hr/> 13,959.67	76,746					m ² 6,455.36 <hr/> 13,959.67	76,746	
工作物	個 73	25,533					個 73	25,533	
公有財産に 準ずるもの		324						324	
電 話 加入権	件 5	324					件 5	324	

借地借家等調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途	
				台帳	現況		単価	年額				
1	建物	事務所建	静岡市葵区 牧ヶ谷680-1	RC造 2F建 平屋部分	RC造 2F建 平屋部分	$\frac{586.30}{586.30}$ m ²	円	円	無償	自 7. 4. 1 至 8. 3. 31	静岡西高等学校 後援会長	体育館1Fトレーニング室
2	"	倉庫建	"	コンクリートブロック造 平屋建	コンクリートブロック造 平屋建	$\frac{50.22}{50.22}$ m ²			無償	自 7. 4. 1 至 8. 3. 31	静岡西高等学校 後援会長	体育器具庫
3	"	雑屋建	"	鉄骨造 平屋建	鉄骨造 平屋建	$\frac{60.00}{60.00}$ m ²			無償	自 7. 4. 1 至 8. 3. 31	静岡西高等学校 後援会長	自転車置場
4	"	"	"	"	"	$\frac{25.00}{25.00}$ m ²			無償	自 7. 4. 1 至 8. 3. 31	静岡西高等学校 後援会長	器具庫
5	"	"	"	"	"	$\frac{10.62}{10.62}$ m ²			無償	自 7. 4. 1 至 8. 3. 31	静岡西高等学校 後援会長	野球部器具庫
建物計						$\frac{732.14}{732.14}$ m ²						
1	工作物	冷暖房装置	静岡市葵区 牧ヶ谷680-1			1 個	円	円	237,046	自 3. 7. 1 至 16. 6. 30	三井住友ファイナンス&リース株式会社	普通教室空調
2	"	"	"			1 個	円	円	4,579,675	自 6. 7. 1 至 19. 6. 30	NTT・TCリース株式会社 静岡支店	特別教室空調
工作物計						2 個			4,816,721			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
長期継続契約	静岡県立静岡西 高等学校 高速フルカラー プリンター 賃貸借契約	(契約日) 令和6年 4月1日 高速カラー プリンター 賃貸借	円 3,498,000	円 699,600	円 699,600	円 699,600	円 699,600	円 699,600

行政財産貸付・使用許可調

(令和6年度)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
				円	円						
1	土地	学校敷地	静岡市葵区 牧ヶ谷680-1	学校敷地	学校敷地	586.30 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	静岡西高等学校 後援会長	体育館1Fトレーニング室
2	"	"	"	"	"	50.22 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	体育器具庫
3	"	"	"	"	"	60.00 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	自転車置場
4	"	"	"	"	"	25.00 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	器具庫
5	"	"	"	"	"	10.62 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	野球部器具庫
6	"	"	"	"	"	1.00 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	時計台
7	"	"	"	"	"	42.38 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	運動部物置
8	"	"	"	"	"	4.00 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	スコアボード
9	"	"	"	"	"	0.21 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	外灯
10	"	"	"	"	"	9.45 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	石灰庫
11	"	"	"	"	"	1.11 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	記念碑
12	"	"	"	"	"	4.18 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	野球部掲示板
13	"	"	"	"	"	8.10 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	クライミングロープ
14	"	"	"	"	"	13.68 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	サッカーシュート練習板
15	"	"	"	"	"	8.61 m ² 地下埋設物 315 m	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	カメラナイト夜間照明設備
16	"	"	"	"	"	1.00 m ²	-	1,350	至 4. 4. 1 至 7. 3. 31	"	パン自動販売機
17	"	"	"	"	"	7.85 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	野球部砂置場
18	建物	事務所建	"	本館校舎	RC5階	8.00 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	昼食販売所
19	"	"	"	"	"	8.00 m ²	-	免除	至 6. 4. 1 至 9. 3. 31	"	パン販売所
20	建物	事務所建	"	本館校舎	RC5階	4.98 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	普通教室空調設備
	土地	学校敷地		学校敷地	学校敷地	0.63 m ²					
21	建物	事務所建	"	本館校舎	RC5階	3.30 m ²	-	免除	至 6. 4. 1 至 9. 3. 31	静岡西高等学校 PTA会長	団体職員執務場所 団体職員駐車場
	土地	学校敷地		学校敷地	学校敷地	11.28 m ²					
22	建物	事務所建	"	本館校舎	RC5階	0.02 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	静岡市長	同報無線戸別受信機
23	"	"	"	増設教室	S1階	9.00 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	防災備蓄物資置場
24	土地	学校敷地	"	学校敷地	学校敷地	18.75 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	防災倉庫
25	"	"	"	"	"	0.60 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	"	避難地標識板
26	"	"	"	"	"	2.20 m ²	-	免除	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	静岡西高等学校 野球部父母の会長	スコアボード及びBSOシグナル板
27	"	"	"	"	"	6.07 m ²	-	免除	至 6. 4. 1 至 11. 3. 31	"	野球部物置
28	"	"	"	"	"	6.41 m ²	-	免除	至 6. 4. 1 至 11. 3. 31	"	野球部倉庫
29	"	"	"	"	"	18.50 m ²	-	免除	至 6. 4. 1 至 11. 3. 31	"	野球部マイクロバス 駐車場
30	建物	事務所建	"	増設教室	S1階	63.00 m ²	-	免除	至 6. 4. 1 至 11. 3. 31	スポーツ・文化観光 部文化局文化政策課	美術作品保管
31	土地	"	"	"	"	電柱 2本 支線 2条	1,500	6,000	至 2. 4. 1 至 7. 3. 31	中部電力パワーグリッド 静岡支社配電建設グループ 長	電力供給電柱 支線
32	"	"	"	"	"	支線 1条	1,500	1,500	至 4. 4. 1 至 9. 3. 31	西日本電信電話 静岡支店長	電気通信業務 供給支線
33	"	"	"	"	"	2.00 m ²	-	12,000	至 4. 4. 1 至 7. 3. 31	東海ビバレッジ サービス静岡支 店	飲料用自動販売 機及び容器回収 ボックス1台
34	"	"	"	"	"	6.00 m ²	-	630,000	至 4. 4. 1 至 7. 3. 31	コカ・コーラボトラーズ ジャパン 静岡ベン ディン 静岡支店 中部日本地区統括部 ベンディン 静岡支店	飲料用自動販売 機及び容器回収 ボックス各3台
35	"	"	"	"	"	54.70 m ²	-	免除	至 6. 6. 8 至 6. 6. 8	静岡西高等学校 PTA会長	文化祭食品販売 所
36	"	学校敷地	"	"	"	7.97 m ²	-	免除	至 7. 2. 6 至 7. 3. 31	静岡TOKAIケーブ ルネットワーク	シェアサイクルステ ーション
合計								650,850			

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	静岡市葵区牧ヶ谷680-1	学校敷地	学校敷地	1.00 m ²	—	1,330 ^円	至7.4.1 至12.3.31	静岡西高等学校後援会長	ハン自動販売機
2	建物	事務所建	〃	本館校舎	RC5階	8.00 m ²	—	免除	至6.4.1 至9.3.31	〃	ハン販売所
3	〃	〃	〃	〃	〃	3.30 m ²	—	免除	至6.4.1 至9.3.31	静岡西高等学校PTA会長	団体職員執務場所
	土地	学校敷地		学校敷地	学校敷地	11.28 m ²	—	免除			団体職員駐車場
4	〃	〃	〃	〃	〃	6.07 m ²	—	免除	至6.4.1 至11.3.31	静岡西高等学校野球部父母の会長	野球部物置
5	〃	〃	〃	〃	〃	6.41 m ²	—	免除	至6.4.1 至11.3.31	〃	野球部倉庫
6	〃	〃	〃	〃	〃	18.50 m ²	—	免除	至6.4.1 至11.3.31	〃	野球部マイクロバス駐車場
7	〃	〃	〃	〃	〃	電柱 2本 支線 2条	1,500	6,000	至7.4.1 至12.3.31	中部電力パワーグリッド㈱静岡支社配電建設グループ長	電力供給電柱支線
8	〃	〃	〃	〃	〃	支線 1条	1,500	1,500	至4.4.1 至9.3.31	西日本電信電話㈱静岡支店長	電気通信業務供給支線
9	建物	事務所建	〃	本館校舎	RC5階	0.02 m ²	—	免除	至7.4.1 至12.3.31	静岡市長	同報無線戸別受信機
10	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	0.60 m ²	—	免除	至7.4.1 至12.3.31	〃	避難地標識板
11	建物	事務所建	〃	増設教室	S1階	9.00 m ²	—	免除	至7.4.1 至12.3.31	〃	防災備蓄物資置場
12	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	18.75 m ²	—	免除	至7.4.1 至12.3.31	〃	防災倉庫
13	〃	〃	〃	〃	〃	7.97 m ²	—	免除	至7.4.1 至8.3.31	㈱TOKAIケーブルネットワーク	シェアサイクルステーション
14	建物	事務所建	〃	増設教室	S1階	63.00 m ²	—	免除	至7.4.1 至10.3.31	静岡県文化政策課	美術作品保管
15	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	2.00 m ²	—	10,000	至7.4.1 至10.3.31	東海ビバレッジサービス㈱	飲料用自動販売機及び容器回収ボックス1台
16	〃	〃	〃	〃	〃	4.00 m ²	—	30,000	至7.4.1 至10.3.31	〃	飲料用自動販売機及び容器回収ボックス各2台
17	〃	〃	〃	〃	〃	52.89 m ²	—	免除	至7.6.7 至7.6.7	静岡西高等学校PTA会長	文化祭食品販売所
合計								48,830			

備品・図書調

(令和 6年度)

所属 0000220505 県立高校・中学校 静岡西高等学校

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	14	(0) 0	0	(0) 0	0	14
01-02 台類	27	(0) 0	0	(0) 0	0	27
01-04 収納保管庫類	63	(0) 0	0	(0) 0	0	63
01-05 印刷機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-07 書類整理器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-10 印判類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-13 厨房器具類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
01-14 冷暖房器具類	4	(0) 1	0	(0) 0	0	5
01-99 その他の庁用器具類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
02-01 情報処理機器類	153	(0) 1	50,160	(0) 0	0	154
02-02 情報伝達機器類	11	(0) 1	280,500	(0) 0	0	12
02-03 再生機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
03-01 撮影機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
03-02 観察・観測用光学機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
03-03 視覚用再生等機器類	39	(0) 0	0	(0) 0	0	39
03-04 媒体関連機器類	2	(0) 0	0	(0) 1	0	1
04-01 診療・診断用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-02 衛生検査用機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
04-03 看護用機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3

備品・図書調

(令和 6年度)

所属 0000220505 県立高校・中学校 静岡西高等学校

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
05-02 波動・熱試験計測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-03 電気試験計測機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
05-99 その他の試験計測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-03 繊維染色縫製機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
06-04 電気電子機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
07-01 農産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-01 車両類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
10-03 社会用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-05 生物物理化学用器具類	9	(0) 0	0	(0) 0	0	9
10-06 家庭科用器具類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
10-07 音楽用器具類	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
10-12 体育保健用器具類	8	(0) 1	2,134,000	(0) 0	0	9
12-01 雑機器	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
50-01 図書	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
計	430	(0) 4	2,464,660	(0) 1	0	433

備品・図書調

(令和 7年度)

所属 0000220505 県立高校・中学校 静岡西高等学校

区分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 9月30日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	14	(0) 0	0	(0) 0	0	14
01-02 台類	27	(0) 0	0	(0) 0	0	27
01-04 収納保管庫類	63	(0) 0	0	(0) 0	0	63
01-05 印刷機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-07 書類整理器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-10 印判類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-13 厨房器具類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
01-14 冷暖房器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-99 その他の庁用器具類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
02-01 情報処理機器類	154	(0) 0	0	(0) 0	0	154
02-02 情報伝達機器類	12	(0) 1	1,816,100	(0) 0	0	13
02-03 再生機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
03-01 撮影機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
03-02 観察・観測用光学機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
03-03 視覚用再生等機器類	39	(0) 0	0	(0) 0	0	39
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-01 診療・診断用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-02 衛生検査用機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
04-03 看護用機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3

備品・図書調

(令和 7年度)

所属 0000220505 県立高校・中学校 静岡西高等学校

区分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 9月30日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
05-02 波動・熱試験計測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-03 電気試験計測機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
05-99 その他の試験計測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-03 繊維染色縫製機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
06-04 電気電子機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
07-01 農産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-01 車両類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
10-03 社会用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-05 生物物理化学用器具類	9	(0) 0	0	(0) 0	0	9
10-06 家庭科用器具類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
10-07 音楽用器具類	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
10-12 体育保健用器具類	9	(0) 0	0	(0) 0	0	9
12-01 雑機器	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
50-01 図書	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
計	433	(0) 1	1,816,100	(0) 0	0	434

主 要 備 品 調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額 円
	大・中	小				
1	2 - 1	パーソナルコンピュータ (一式)	ファイルサーバ1台、デスクトップPC43台、カラーレーザーPr1台、モノクロレーザーPr1台、プロジェクター1台 他	毎日(年間190日) 電算機室 各教科授業用	R2.1	6,020,938
2	2 - 1	パーソナルコンピュータ (一式)	iPad80台	毎日(年間190日) 各教室 各教科授業用	R3.3	3,615,128
3	10 - 12	室内競技用器具	HADO 3 on 3モデルバッテリー掲載型 Aセット	月5回 体育館 体育授業用	R7.3	2,134,000
4	2 - 2	放送装置	校内放送装置 パナソニック	毎日(年間190日) 放送室 校内放送用	R7.8	1,816,100
5	2 - 2	放送装置	放送装置一式 WX-3020 他	月4回(年間40日) 体育館 各種行事用	H5.2	1,170,080
6	10 - 12	トレーニング用器具	バタフライ&ローイングマシン セノー メッキ255kg	毎日(年間190日) トレーニング室 体育授業用	H元.11	952,750
7	1 - 14	エアコンディショナー	壁掛型パッケージエアコン 三菱電機 PKZ-ERMP112KLY	夏季(年間70日) 大会議室 各行事用及び授業用	R2.9	858,000
8	10 - 7	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハC-3B	毎日(年間190日) 音楽室 授業用	S52.3	765,000
9	3 - 3	その他の投影機	ビデオプロジェクター ナショナルTH-L595J	月1回 英語教室 授業用	H10.3	746,550
10	2 - 3	ビデオ装置 (一式)	ビデオ HV-FX10・テレビモニター・テレビ台・AVラック	年10回 被服室 家庭科授業用	H4.9	727,180
11	2 - 3	音響再生機器	アンプ ヤマハAVX-2280DSP スピーカー・他	月12回(年間120日) 音楽室 授業用	H7.12	669,500
12	2 - 1	その他の情報処理機器	光学式マーク読取装置 SR-430plus	年7回 職員室 テスト・アンケート用	H29.9	595,620
13	10 - 6	教育調理器具	調理台 生徒用 (10台)	年10回 調理室 家庭科授業用	H9.3	561,350
14	2 - 2	放送装置	校内放送装置 パナソニック	毎日(年間190日) 放送室 校内放送用	H24.8	554,400
15	3 - 3	映写機用器具	映写スクリーン下部巻上式 300kg	年10回 体育館 学校行事用	S62.1	520,000
16	4 - 3	その他の看護用器	製氷機 CM-100K	毎日(年間250日) 体育準備室 応急処置用	H27.2	518,400
17	3 - 3	プロジェクター	壁掛けプロジェクター EB-590WT	毎日(年間190日) 普通教室 授業用	H28.3	516,240
18	3 - 3	その他の投影機	液晶プロジェクター パナソニックTH-L785	月12回(年間120日) 視聴覚室 各教科授業用	H17.3	500,220
19	3 - 3	プロジェクター	レーザー光源ビジネスプロジェクター EB-L630SU	年10回 職員OA室 体育館行事用	R 5.2	498,300
20	4 - 3	その他の看護用器	製氷機 CM-60A	毎日(年間190日) 保健室 応急処置用	H24.2	489,825

□□□□

職 員 調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	松場 勉		□□□	□ □	□□□
2	副校長	向井 稔		□□□	□ □	□□□ □□□□
3	教頭	増田 佳子	理科	□□□	□ □	□□□
4	事務長	西尾 雅子		□□□	□ □	□□□ □□□□
5	教諭	宇佐美 智	国語	□□□	□ □	□□□ □□□□
6	教諭	安原 みどり	国語	□□□	□ □	□□□
7	教諭	山田 和佳奈	国語	□□□	□ □	□□□ □□□□
8	教諭	飯塚 悠大	国語	□□□	□ □	□□□
9	教諭	小林 由佳	地歴公民	□□□	□ □	□□□ □□□□
10	教諭	山本 毅	地歴公民	□□□	□ □	□□□
11	教諭	山内 正邦	地歴公民	□□□	□ □	□□□
12	教諭	秋山 主海人	地歴公民	□□□	□ □	□□□
13	教諭	橋本 龍二	数学	□□□	□ □	□□□ □□□□
14	教諭	今村 晃	数学・情報	□□□	□ □	□□□
15	教諭	永倉 恵	数学	□□□	□ □	□□□
16	教諭	矢崎 加奈	数学	□□□	□ □	□□□
17	教諭	太田 統之	理科	□□□	□ □	□□□ □□□□
18	教諭	園 明子	理科	□□□	□ □	□□□
19	教諭	友野 拓真	理科	□□□	□ □	□□□
20	教諭	赤平 大二郎	保健体育	□□□	□ □	□□□ □□□□
21	教諭	判野 徹	保健体育	□□□	□ □	□□□
22	教諭	志田 真佐和	保健体育	□□□	□ □	□□□
23	教諭	小柳津 理奈	保健体育	□□□	□ □	□□□
24	教諭	藤岡 巧	保健体育	□□□	□ □	□□□
25	教諭	朝比奈 祐弥	保健体育	□□□	□ □	□□□
26	教諭	池田 ゆかり	外国語	□□□	□ □	□□□
27	教諭	寺下 貴子	外国語	□□□	□ □	□□□
28	教諭	滝口 夏帆	外国語	□□□	□ □	□□□
29	養護教諭	前田 悠		□□□	□ □	□□□
30	実習助手	齊藤 裕美	理科	□□□	□ □	
31	主査	首藤 貴光		□□□	□ □	□□□ □□□□
32	主査	小泉 佳奈江		□□□	□ □	□□□ □□□□
平均年数					□ □	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	会計年度任用職員	西村 宏	国語	□□□	□ □	□□□ □□□□
2	会計年度任用職員	齊藤 由美	国語	□□□	□ □	□□□ □□□□
3	会計年度任用職員	大場 暁	英語	□□□	□ □	□□□ □□□□
4	会計年度任用職員	稲垣 都香	音楽	□□□	□ □	□□□ □□□□
5	会計年度任用職員	成瀬 まり	美術	□□□	□ □	□□□ □□□□
6	会計年度任用職員	深澤 光子	書道	□□□	□ □	□□□ □□□□
7	会計年度任用職員	飯塚 理恵	家庭	□□□	□ □	□□□ □□□□
8	会計年度任用職員	MichaelaKokavcova	外国語	□□□	□ □	□□□
9	会計年度任用職員	伏見 隆	用務	□□□	□ □	□□□
10	会計年度任用職員	芦刈 幸夫	用務	□□□	□ □	□□□
11	会計年度任用職員	柘植 正則	用務	□□□	□ □	□□□
12	会計年度任用職員	野澤 珠実		□□□	□ □	□□□
13	会計年度任用職員	矢野 智		□□□	□ □	□□□
14	会計年度任用職員	赤平 大二郎		□□□	□ □	□□□
15	学校医・健康管理医	近藤 泰	内科	□□□	□ □	
16	学校医	柳田 和夫	眼科	□□□	□ □	
17	学校医	石川 東	歯科	□□□	□ □	
18	学校医	田中 秀夫	耳鼻科	□□□	□ □	
19	学校薬剤師	高橋 信人	薬剤師	□□□	□ □	

□□□□

職員の年齢調

(令和7年9月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	1人	
30歳以上40歳未満	9人	
40歳以上50歳未満	8人	
50歳以上56歳未満	5人	
56歳以上61歳未満	4人	
61歳以上	5人	暫定再任用職員5人
計	32人	平均年齢 47.6歳

□□□□

健康管理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 35人
	職員数 35人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行つてよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	10人
D 2		要経過観察	9人
D 3		医 療 不 要	11人
区 分 者 計			30人
未区分者数			2人
合 計			32人

(1) 管理区分A～C 2 該当者

に対する措置状況

□□□□□□□□

(2) 未区分の理由

□ □□□□ □人

□ □□□□ □人

□ □□□□ □人

□ □□□□ □人